



△7月18日 柱松祭燈神事

小菅神社、二の鳥居のある部落に住んで居ながら、小菅部落にある沢山の文化財、由緒ある建物、そして古くから伝わっている柱松祭燈神事をあまり知る事も無くいました。今回の講座、こんな機会には又と無いという思いで参加させていただきました。講座を通して今迄見て来た小菅部落の風景を全く違った目で見ることができ、感じる事ができました。何気なく木の下に建っている石碑一つでも、江戸時代からずっと小菅の市を

見守り祭りを見て来たんだと感じます。何よりも柱松を建立している人達の生き生きとした力溢れる姿に感動しました。若い人もお年寄りの方々も一丸となつて作つておられるその迫力は素晴らしいものでした。この力が祭りを作つて行くのだと感じました。祭りの当日は大勢の方が見物に来られました。普段は大工さん、お百姓さん、学生さん、その人達が着るべき物を着て持つべき物を持つと不思議と祭官、松太鼓、巫女にな



△7月11日 信州大学 梅干野氏による講義

参加者の声

ふるさと再発見・「小菅の松子」に参加して

瑞穂 小坂 晶子

飯山雪国大学子育てセミナー 公開講座

口の中からみえてくるもの ～子どもの歯と健康と食生活～

歯科医・鈴木公子氏に子どもが健康に過ごすための
オーラルケアや食生活についてお話しいたします。

講師 鈴木公子氏

(歯科医院院長)

9月5日(日) 13:30～

開場 13:00 終演 15:00 (予定)

会場 飯山市民館 2階講堂

どなたでもご自由に
ご来場ください (入場無料)

◆ 託児について (託児のおやつ代100円)

託児をご希望の方は飯山市民館までご予約ください。

8月27日(金) 締切 /先着10名まで

*お子様と一緒に講演を聴くこともできます。

託児申込み・お問合せ先 飯山市民館 (Tel.62-3342)



第31回

飯山市青少年芸術祭 舞台部門 参加者募集

青少年の芸術文化活動を発表する機会を通じ、芸術文化に対する関心を高め、青少年の健全な育成と市民文化の高揚を図る目的で、今年度も飯山市青少年芸術祭を開催いたします。

■期日・会場

舞台発表の部

11月3日(文化の日) 飯山市民会館(城山)

■開催部門および種目【舞台発表の部】

○音楽部門(合唱 吹奏楽 合奏 等)

○芸能部門(民俗芸能 等)

○演劇部門(児童劇 人形劇 等)

○舞踏部門(ダンス 民踊 バレエ 等)

■参加資格

原則として市内の幼・保育園児、小・中学生、高校生で構成するクラブ・学校および民間活動グループとする。

■申込締切 9月15日(水)

■申込先 飯山市民館 Tel.:62-3342 Fax:62-5940

昨年度、私たち保育士のでびきとなる「保育所保育指針」が、厚生労働大臣により「告示」されました。昭和四十年に初めてできて以来、三度の改定が行われてきましたが、これまでは「通知」であつたものが、今回は従来と大きく変わり、国の施策のなかで保育所の役割が明確化され「告示」として公布されました。そのなかで、子どもの人権の尊重について、一保育所は、子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない。―と記されています。私たちは、子どもたちが苦痛なく、心から安心して一日の生活が送れるよう、日々自分を省みて不足を補い、保育士として成長できるよう努めています。人的環境として子どもたちに与える保育士の人間性は重要です。やさしい保育士でありたいと思います。人それぞれにやさしさの概念は違いますが、慈しめる保育士でありたいと思います。

卒園式に、これまでの成長として写真を飾った時があつたのですが、その写真を選んでいる時の事。「これがいい」とそ

人権
学習シリーズ

「やさしさ」

瑞穂保育園 園長
服部 正子

の子が手にしたのは、今は亡き曾祖母の膝に抱っこしてもらっている写真でした。大切に開わり育ててもらったんだという情景と、ありがたうの心が伝わってきました。

このことばで靴揃えを覚えました。「籠に乗る人担ぐ人」そのまたわらじを作る人」江戸時代のピラミッド型の階級社会にもとれますが、わらじが無く担ぐ人もいなければ、たとえ階級的には上の人であつても籠に乗ることはできないのであり、どの仕事もどの人も社会のなかでは大切な役割を果たしているという事なのでしょう。年令を追う毎にこの意味がわかったように思います。一足す一を伝えることはできずとも私にとっては大切なものを伝えてくれました。

今、核家族の方も多いと思いますが、いろいろな年令層の方とのふれ合いのなかでは又ちがつた生活の中が広がつてくると思います。大事にしていければいいなと思います。

「公民館活動について」

飯山地区曙町公民館長 中島 武広

★マイ
★オピニオン
意見・私見



日頃より、公民館活動に携わっている皆様、ご苦勞様です。我が区内においては市営住宅と持家の方から成る地域で、両世帯が協力して公民館活動をしています。

ここ数年において、公民館活動に問題が生じてきました。なぜなら、私以外にも部員がおり、一度、公民館部員になれば、新しい人が加わらないかぎり辞めることが出来ず、数十年と続けて活動をしているという状況で、後継者がいないのが問題です。

これは区の体制が悪いと言うことでは無く、中々、公民館活動に関心と地区に対し貢献したいといった心得が持てないと出来ないことでも有ります。また、仕事をしている中での活動なので難しい面が多々有る様に思います。

また、区内は後継者不足は元より、高齢化の影響が出て来て

います。今後、行事等の参加も出来なくなる様な、行く先不安が有る状態です。皆さんの地域ではどうでしょうか？

少子化問題と、後継者、若者の存続が必要な問題ではないのでしょうか？ これには企業の誘致等の対策、他にも有ろうかと思いますが、この状況化を変えて行かないと、この公民館の活動も危ういのではないかと感じます。

市政においてはこの後継者問題、若者をこの地に残し居住させる対策をされているとは思いますが、中々先が見えてこないところでも有り、危機感が募る状態です。

市政が潤つてこそ公民館活動が成り立つ訳であり、今やその活力は地域差は有るかもしれませんが下降傾向ではないでしょうか？

この御時勢からは難しい課題では有ると思いますが、早々の対策を望みます。

この先、活力有る公民館活動が継続出来ることを願いたいと思います。